

多分野多職種連携活動 ゆるネット勉強会

【内容・狙い】

『司法、教育、医療保健、福祉(地域・児童、障害、高齢、介護)、仕事、暮らし・社会問題など』様々な立場の専門職間が知りたい情報が得られ、交流できる機会を作ること、多分野・多職種連携の一助となり、支援実践や情報共有ができる土壌を耕していくことを目的として開催。

また、会員相互に活用できる「ゆるネット版人財バンク」を活用することで、公共性のある人財活用システム構築を図る。

【参加者の声】

(介護職) 介護分野にいとその関係の情報しか得られない。参加して視野が広がった。

(相談職) 医師や弁護士、大学教員の方は敷居が高いと思っていたが、日々悩んでいた、知らないこともあるんだ、同じ人なんだと親近感が湧いた。

(弁護士) 専門職視点の違いと違うことの大切さを学べた。視野がとても広がった。

【成果と課題】

約17年、隔月(年6回)続けた結果、現在102回開催、総参加者数3,226名以上の参加となった。分野・職種・役職など関係なく集まり、膝を突き合わせて学び合え、知り合える機会を参加者の方々と共に作り続けることで、多分野多職種連携とネットワークづくりの一助となっている。課題としては、参加費原則無料で実施しており、活動費の確保と情報発信の拡充があげられる。

【様子(写真など)】

